

東大校友会ニュース

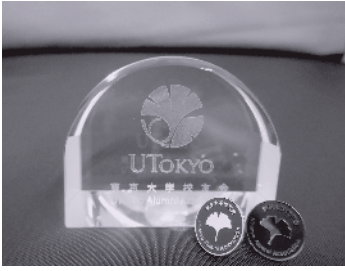
September 2020

U Tokyo
Alumni
Association
News

no. 39

contents

- 2 | 数字で見る東京大学校友会
- 6 | 東京大学校友会役員会
— 新会長就任 —
- 8 | 2020年のホームカミングデイは
史上初オンライン開催
- 14 | 東京大学から皆様へ 御礼とお願い



数字で見る東京

2004年10月に東京大学学友会としてスタートした東京大学校友会は、今年で16年目を迎えます。2015年に五神真総長が示した中長期方針、東京大学ビジョン2020では「卒業生や支援者のネットワークを充実させ、大学との連携・協力を強化する」とあり、この間、私どもは卒業生にかかわるアクションプランを推進してきま

した。

2027年、東京大学は150周年を迎えます。歴史が浅い東京大学校友会ですが、大学とともに未来を展望する取り組みに邁進していきます。

同窓会のカテゴリからも検索できます。詳しくは

[東京大学校友会同窓会一覧](#)

[検索](#)

学部等同窓会

48

地域別同窓会

海外

56

国内

54

教職員
(退職者含む)



東京大学学部
および
大学院在学生

運動会同窓会

29

東京大学 校友会

団体

個人

東京大学卒業生
および
大学院修了生
(在学した者も含む)

文化サークル 同窓会

18

職域特定分野 同窓会

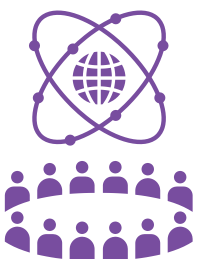
44

クラス会

専門課程

駒場

12 | 50



大学校友会

東京大学校友会には、
様々なカテゴリーの同窓会が登録しています。
従来型の親睦を深める同窓会にとどまらず、
業種・職域、在住地域単位で大学プログラムのサポート、
学生生活の支援など、東京大学ならではの
多様な活動をする同窓会が増えています。

卒業生・修了生

428,455人

ノーベル賞

10人

総理大臣

日本のリーダーである総理大臣にも
本学の卒業生が就いており、国の歴史に
名を刻んでいます。

東大出身者総理大臣

15人

歴代総理大臣

62人

Alumni

東京大学は多くの卒業生を
世に送り出してきました。
本学の卒業生は、
いつの時代にもさまざまな分野で
社会に貢献する人材として
活躍し、その足跡を残しています。

宇宙飛行士

5人

誰もが憧れる宇宙への旅には高い専門性と
宇宙での生活に耐えうる能力が必要です。
厳しい訓練を乗り越えて宇宙飛行をした本
学卒業生は5人。これからも増えていく
ことでしょう。



2015年には梶田隆章教授が物理学賞を受賞。梶田教授は2002年に物理学賞を受賞した小柴昌俊特別栄誉教授の弟子にあたります。また2016年には本学助教授時代に大きな成果を挙げた大隅良典博士が生理学・医学賞を受賞しました。

東京大学の概要
2019 資料編より

在学生支援・卒業生向けプログラム



(左から) 例年300名ほどが集まる海外大学院留学説明会。今年はコロナ感染防止の観点からオンラインで開催。日曜日の朝にもかかわらず約400名が視聴した。面接演習や就職に向けたアドバイスをする校友会サポーター※。若手卒業生向けのキャリアセミナーは継続を希望する受講者が多い。 ※卒業生約80名が登録している。

校友会サポーターの横顔

「卒業生の輪を広げたい」

三輪 宗さん 2012年教養学部卒業

在学中はキャンパスマガジン編集長。海外大学院留学を経て、現在はソフトウェアを開発、販売する情報通信業に従事。

東京大学の校友会サポーターとして活動しています。2019年のホームカミングデーでは、ビジネスについて小学生に楽しく学んでもらうワークショップを卒業生の家族向けに開催しました。「会社とはなにか」、「売上・コストとはなにか」といったビジネスの基本をわかりやすく説明し、自分たちにとって理想の会社を考えてもらいます。「どうやって売上げをあげるか」、「何がコストになるか」を子どもたちに学んでもらうことが目的です。ホームカミングデー以外にも年2回程度開催してお

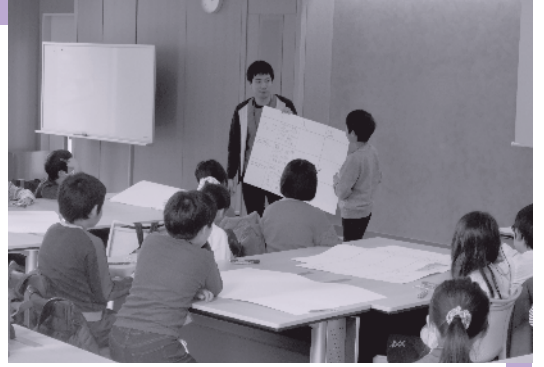
り、今までに80人以上が参加、参加者の平均満足度も高いワークショップとなりました。

このようなイベントを企画するようになったきっかけは、2018年に経営学修士取得のため北米海外留学をしたときの経験です。現地ではさまざまな経験をしましたが、その中でも地域の学校で課外学習・校外学習の手助けをするボランティア活動に参加したことで、自分の受けてきた教育を国や地域に還元する、という意識を強く持つようになりました。

また、もう一つ理由があります。卒業生の

ひとりとして、東京大学の校友会・同窓会をもっと盛り上げたいという純粋な思いです。そのためには認知度を上げる、ポジティブな想いを増やすことが必須だと考えていて、多くの卒業生たちが必要としている場を用意して、皆が知り合う機会を提供することができればこの企画を始めました。

今後はメンバーを増やしてワークショップの種類やテーマの数を充実させていきたいと考えています。



東京大学 校友会役員会を開催

2020年度の東京大学校友会役員会は、新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、関係者には事前に審議資料を送付。参加者を10名に限定し、7月3日(金)、本郷キャンパスにおいて開催いたしました。



2期4年にわたり東京大学校友会の発展に尽力された大塚陸毅会長の後任として、宗岡正二副会長が新会長に就任しました。また、本年度は、例年10月に開催されていた代議員会の開催が見送られることになりました。審議事項として、「地域同窓会本部の設置と所要の会則改正」が賛成多数で決議されました。

審議事項

東京大学校友会（以下「校友会」）と東京大学同窓会連合会（以下「連合会」）の大同団結プロジェクト答申書（2020年3月17日付）の提言を踏まえ、大同団結の第1段階として、2020年10月1日付にて、

1. 校友会に「地域同窓会本部」（以下「本部」）を設置する、
2. 本部は連合会事務局が兼務し、本部長は校友会会長が指名する、
3. 本部の業務は、校友会の団体会員業務のうち
国内の地域単位の同窓会に関わる部分

とし、連合会業務との重複整理等、その具体的内容は校友会、連合会の関係者が今後協議し確定していく、

4. 上記のため校友会会則の所要の改正を下記の通り行う。

「(1) 会則「第7章 事務局」を「第7章 事務局及び地域同窓会本部」として、以下条文を付加（「連携」は「目的を同じくするもの同士が、連絡し協力しあって何かをすること」を意味）。

地域同窓会本部

第16条の2

本会に、国内の地域単位の同窓会活動を支援する地域同窓会本部を置く。

2 地域同窓会本部に会長が指名する本部長を置き、本部長は事務局長と連携する。

出席者

東京大学校友会会長 大塚 陸毅

東京大学校友会新会長 宗岡 正二

【名誉会長】

五神 真

【副会長】

藤井 輝夫

藤吉 泰晴

【大学】

副学長 津田 敦

卒業生課長 金吉 恭子

卒業生部門長 島田 久弥

【事務局】

東京大学校友会事務局長 神澤 俊介

東京大学校友会事務局長代理 鈴木 孝嗣

東京大学校友会会長就任に当たって

宗岡正二 むねおかしょうじ 日本製鉄株式会社相談役

私は、本年7月3日の東京大学校友会役員会で五代目の会長を仰せつかりました。4年間会長をお務め頂いた大塚陸毅会長（東日本旅客鉄道顧問）の後任として、重責でございますが、大学と卒業生の皆様の為に微力を尽くして参りたいと存じます。

まず、大塚会長におかれましては、校友会の認知度向上、組織、財政基盤の拡充に大きな成果を上げて頂きました。心から御礼申し上げます。ご任期最後の4ヶ月が新型コロナウイルスの感染拡大と重なり、卒業式、入学式、入学生歓迎パーティー等へのご出席の機会が叶わなくなりましたことは誠に残念でございますが、大塚会長時代の東大校友会の発展と活動拡充をしっかりと受け継いで参りたいと存じます。

さて、昨年3月、東大校友会は、東京大学同窓会連合会と大同団結に関する覚書を締結し、その後、両団体関係者による議論を経まして、本年3月、大同団結を2段階で実施すること等を内容とする答申書が取りまとめられました。

そこで、今回の役員会では、本答申書の趣旨を踏まえまして、第1段階として、本年10月1日付の校友会会則の改正施行と、それに伴う「地域同窓会本部」の設置が了承されました。同本部は、校友会の団体会員業務のうち地域同窓会に関わる部分を、連合会事務局に兼務頂くものであり、これにより、両団体の重複する業務の調整を始め、真の全学同窓会組織の形成（第2段階）に向けて、校友会と同窓会

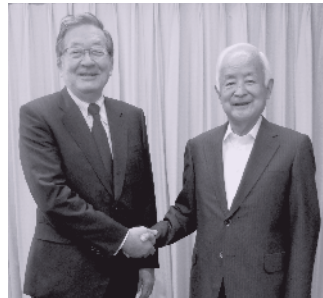
連合会とが一層緊密に協働する体制が実現致します。

今般の会則改正は、まず第一歩でございますが、校友会発足から16年が経過し、2年後には大同団結の第2段階が展望される中で、会則の中身をさらに見直す必要があり、今後、校友会幹事の方々を主体とするワーキンググループで、会則の更なる改正案をご検討頂くことになりました。

一方、足下の校友会の活動に目を転じますと、新型コロナウイルスの問題が収束するまで、校友会のイベント等は制約を受けざるを得ない状況となります。しかし、コロナ禍の中での校友会の活動、とりわけ大学や在学生に対する支援につきましては、団体会員、個人会員（卒業生、在学生、教職員）の皆様方のお知恵も拝借し、可能なものから順次取り組んで参りたいと考えております。

また、より多くの卒業生が大学や在校生と活発に交流できるコミュニティづくりが必要であるとの考えの下、在学時から卒業後まで一貫通貫の新情報システムの開発も、五神真総長のご発意により、大学にご主導頂けることとなりました。新しいシステムは、卒業生把握率の大幅向上と、それに伴う卒業生と大学や在校生とのより緊密なコミュニケーションを中長期的に可能にするものであり、校友会として、その実現を強力にサポートして参る所存です。

最後になりましたが、東大校友会会員の皆様方には、校友会の一段の発展と大学への多様な貢献に向けて、引き続きご支援ご協力を頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。会長就任のご挨拶とさせていただきます。



昭和45年

東京大学農学部卒業後、新日本製鉄株式会社（現日本製鉄株式会社）入社。

平成20年

同社 代表取締役社長。

平成24年

新日鐵住金株式会社（現日本製鉄株式会社）代表取締役会長兼CEO。

令和元年

日本製鉄株式会社相談役。

平成24年5月

赤門学友会（現東京大学校友会）副会長。

令和2年7月

東京大学校友会会長。

史上初のオンライン開催

2020年は

東京大学ホームカミングデー

2020年に第19回を迎える東京大学ホームカミングデーは、初のオンライン開催となります。新型コロナ感染拡大の動向を見ずえ、今回は新たなスタイルへと一歩踏み出します。今年のプログラムにエントリーした同窓会、学部・研究科、研究所、学生団体の企画数は合わせて約50プログラムとなりました。

それぞれが可能性を模索しつつ、東大ならではのプログラムをお届けしようと鋭意企画しています。加えてライブ配信に限らず、Zoomサービスの利用、オンデマンド配信のコンテンツも

揃え、従来は参加が難しかった皆さまにもWebサイトから自由にお楽しみいただけるものにします。

今まで来場が難しかった方も、ご自宅のパソコンやスマートフォンを通して「新しい形の東京大学ホームカミングデー」に参加してください。同じ空間でなくても、プログラムと時間が共有できますので、普段、パソコンやスマホの扱いが苦手とおっしゃる方も、この機会にぜひチャレンジしてみたいかがでしょうか。

今号では、過去5年間の「特別フォーラム」も誌上で振り返ります。

DATE
2020.10.17 sat

第19回

特別フォーラム ライブ配信 10:40～12:30

「新型コロナウイルスと人類 ～想定外にいかに向き合うか」

今回の特別フォーラムでは、未曾有の事態を引き起こしている新型コロナウイルスをテーマとしました。医療現場・研究開発現場の最新の状況と今後、人類が経験してきた大規模な感染症の歴史と社会へ与えてきたインパクト、そして、想定外の危機への対応という3つの視点からこのテーマに迫ります。各領域における第一人者の講演後は、危機を乗り越え、より良い人類社会を創造していくために、想定外な事柄に如何に向き合い、未来への手応えをつかんでいけばよいか、鼎談形式で議論を深めます。

Theme

「新型コロナウイルス感染症対策の現状と今後」

医科学研究所 河岡 義裕 教授

今、医療現場では、新型コロナウイルスにどのように対応し、そして今後、パンデミックはどうなっていくのか。政府の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議のメンバーも務めた、ウイルス学の権威が解説します。



Profile

河岡 義裕 Yoshihiro Kawaguchi

東京大学医科学研究所感染症国際研究センター長。1978年北海道大学獣医学部卒業、80年同大学修士課程修了、83年獣医学博士取得。St. Jude Children's Research Hospital, Tennesseeにて教授研究員、ウイスコンシン大学獣医学部教授の後、東京大学医科学研究所細菌感染研究部教授、感染・免疫部門ウイルス感染研究分野教授を経て現職。

Theme

「“感染症と人類”の歴史を紐解く」

大学院経済学研究科 小野塚 知二 教授

新型コロナウイルスはペストやスペイン風邪など歴史的な感染症に匹敵すると言われる。これら感染症により、社会はどのように変容し、その変容に人類は如何に対応して来たのか、また、そこから得られる教訓とは何か、経済史をはじめ多面的な視点から洞察します。



Profile

小野塚 知二 Tomoji Onozuka

東京大学経済学研究科教授、東京大学アジア研究図書館長。1981年東京大学経済学部卒業、87年同大学院経済学研究科第II種博士課程単位取得退学。経済学博士。東京大学社会科学研究所助手、横浜市立大学商学部助教授を経て現職。専門は近現代西洋社会経済史、イギリス労務管理史・労使関係史、第一次世界大戦史、兵器産業史など。

Theme

「“危機への対応”～プリコラーージュという考え方」

社会科学研究所 玄田 有史 教授

我々は危機に直面したときにどう対応していけばよいのか。社会科学研究所での「危機対応の社会科学」プロジェクト研究の成果も踏まえ、社会における様々な危機の発生メカニズムと、その対応策について紹介します。



Profile

玄田 有史 Yuji Genda

東京大学社会科学研究所教授。1988年東京大学経済学部卒業、92年同大学院経済学研究科第II種博士課程退学。経済学博士。学習院大学経済学部教授を経て現職。専門は労働経済学。著書に「希望学」(共著)、「希望のつくり方」、「危機対応の社会科学」(共著)、「地域の危機・釜石の対応」(共著)ほか。



特別フォーラムアーカイブ

2015-2019

※肩書きはすべて開催当時のものです。

DATE
2019.10.19

第18回

「AI時代を生き抜く処方箋」

Theme

「AIの可能性と限界」

松尾 豊

大学院工学系研究科附属人工工学研究センター教授、
日本ディープラーニング協会理事長

Theme

「AI時代を生き抜く 処方箋」

養老 孟司

東京大学名誉教授

Moderator 横山 広美 東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授



特別関連企画

「AI (人工知能) 研究 最前線」



特別フォーラムに続き、松尾教授や松尾研出身のベンチャーが参加。AI研究の現状について、理論・技術の概要を解説し、ビジネスの現場では、どのように実装されているか実例を挙げて紹介。

AIをキーワードに、松尾豊教授が「AIの可能性と限界」、養老孟司名誉教授が「AI時代を生き抜く処方箋」と題してそれぞれ講演した。

松尾教授は人工知能、ディープラーニング（深層学習）の研究者の観点から、「ディープラーニングの変革による日本企業への影響」「AIとヒトとのインタラクションという意味で、AIへの理解を深め、よりよい形を作っていく姿勢をとり続けなくてはいけない」などと語った。また、養老氏

は「情報化社会においてはデータだけが必要となっている」「例えば病院の診察で医者は検査結果（データ）だけを見ており、目の前のヒトは見えない。AIが生み出す脳化社会においてヒトは不要なノイズとなってしまふ」「理屈のないものを大事にする感覚、差異の感覚を大事にすることがAIが生み出す脳化社会への処方箋である」などと話した。

DATE
2018.10.20

第17回

「『身体』と『こころ』のフロンティアに挑む」

Theme

「東京大学 スポーツ先端科学研究拠点とは」

石井直方

東京大学スポーツ先端科学研究拠点、総合文化研究科教授

Theme

「身体の未来 ~身体を解き放つテクノロジー」

稲見昌彦

東京大学先端科学術研究センター教授、
東京大学スポーツ先端科学研究拠点メンバー

Theme

「脳科学から見た こころの発達と創造性 ~科学・芸術から将棋の世界まで」

酒井邦嘉

東京大学総合文化研究科教授、ニューロインテリジェンス国際研究機構主任研究員



特別関連企画

「東大式未来の 健康広場」



工学部2号館フォーラムエリアでは「東大式未来の健康広場」と題し、人間拡張工学の研究成果の体験コーナー、1961年入学以降の入学生の体力測定データを、当時の同学年と比較した「体力偏差値」提供コーナー、身体組成測定コーナーを開設。

2020年のオリンピック、パラリンピック控え、特別フォーラムでは、“からだ”、そして“からだ”と不可分である“こころ”をテーマに据え、「身体（からだ）とこころのフロンティアに挑む」と題し、東京大学でスポーツや健康科学、脳科学の最先端研究をされている3名の先生方の講演、その後は、NHKの小野文恵アナウンサーの司会・進行による鼎談を行った。

鼎談では、先生方がそれぞれに講演内容の興味点、着目した点を挙げ、「身体」「人間拡張」「脳」の専門領域見地から「筋肉を刺激すると脳が活性化する」「拡張の観点からスマホで自分の身体を撮影し、気づかない自分を発見する」「人間が機械を使うことはあっても、機械には使われない」「AIをこき使い、人間が墮落してはいけない」などの意見がでた。

DATE
2017.10.21

第16回

「140周年記念講演会」



Theme

「東大の歴史、日本の歴史」

加藤 陽子

人文社会系研究科教授

東 大の50年史は1932年に刊行。実質一人で書いたのは、国史学科の副手だった大久保利謙、大久保利通の孫であった。4学部の建物が本郷に揃った1881年が創設年にふさわしいとの意見もあるが、50年史の書き出しは1868（明治元）年である。蕃書調所や種痘所という廃れた旧幕の洋学機関を維新政府が復興したという史観の圧力を、大久保は感じていたのか。

100年史は、伊藤隆、寺崎昌男、中野実などの優秀な研究者たちが中心にまとめた通史で1984年～1987年に刊行。編集要綱には「人材育成ならびに学術の発展において東京大学の果たした役割を明らかにする」「あらためて資料の調査収集を行い、現地点における新しい展望のもとに、100年間の歴史を記述する」と謳われている。

140周年は、東大は70年+70年で捉えている。1945年にアジアの中の日本として再出発したという捉え方は妥当であり、東大が何を失ったかを考える契機ではないか。

来たる150年史は、戦後70年の歩みを、人材育成、学術の発展、社会との関係性の中に位置づけ直す試みとなり、期待している。



Theme

「脳の現在と未来」

池谷 裕二

薬学系研究科教授

脳 科学における様々な実験を例に、現在から未来への話をすると、現代の課題の一つは高齢化である。生まれた人が何歳まで生きるかというシミュレーションの一つに、2007年に生まれた子の50%は100歳以上生きるという分析があり、一方で、将来、いまの小学生の約65%は、現在はない職業につくという分析もある。将来の夢の65%はかなわないことになり、では私たちは将来にどう臨めばいいのか。

例えば多くの単語が並ぶリストを見せ、30分後に別の単語が並ぶリストを見せ、先のリストにあった単語はどれかを聞く実験がある。若者と年輩者での比較実験で「心理テスト」と称して行う場合と「記憶力テスト」と称して行う場合で点数を比べると、若者はどちらも点数が変わらないが、年輩者は後者の場合に点数が如実に落ちる。加齢で記憶力が衰えるという俗説が普及したのが原因であり、ネガティブな自己暗示が能力を低下させているケースがままある。

次の70年、UTokyo3.0に向けて脳科学がいえるのは、熱意を持って楽しくご機嫌に生きるのが重要だということだ。

DATE
2016.10.15

第15回

「『知』がひろく ～新たな価値創造への挑戦～」

Panelist

石川 正俊

東京大学大学院
情報理工学系研究科長・
創造情報学専攻教授

島田 啓一郎

ソニー（株）執行役員、
中長期技術・
技術渉外担当

新宅 純二郎

東京大学大学院
経済学研究科教授

谷家 衛

あすかホールディングス
株式会社取締役会長

菅 裕明

東京大学大学院
理学系研究科教授

Moderator

榎 太一

日本テレビ放送網（株）編成局 アナウンス部所属



周年学年会



20周年、25周年、30周年、35周年、40周年、45周年、学部学科を超えた6つの年次が本郷キャンパスに集合。旧交を温めた。

榎 太一日本テレビアナウンサーをモデレータに、社会・大学を取り巻く環境、大学がどんな形で社会に貢献していけるのか、そして産業界とどのように連携していけるのか、あるいはどんな可能性を秘めているのか、東京大学はこれからどうなっていくべきなのかをテーマに意見交換を行った。

「大学の役割に社会貢献が加えられ、大学は価値創造の拠点でなければならない。」「プロデュースする人・集団が大切であり、専門性が揃っている

総合大学はチャンスである。」「課題を解く前に、課題を見つけること。課題発見能力をどう鍛えるか。」「大学はインベンションでしか貢献できない。社会でイノベーションに関わる人たちが、我々の方を向いてくれることが重要。」「個性を突き詰めるアプローチで面白いものが生まれる。ダイバーシティも大事。」など、自らがイノベーションのフロントに深くコミットするパネリストが、多面的な視点から意見を展開した。

DATE
2015.10.17

第 15 回

「安田講堂の90年

～生まれ変わったシンボル、時代の歩みとともに～

梶田隆章教授 ノーベル賞受賞お祝い



10月6日に、ノーベル物理学賞受賞が決定した東京大学宇宙線研究所長・梶田教授が登壇。詰めかけた来場者はホットな先生の登場に沸き、張富士夫東大校友会会長からお祝いの清酒が送られた。

Panelist

藤井 恵介
東京大学大学院
工学系研究科教授

吉見 俊哉
東京大学大学院
情報学環教授

千葉 学
東京大学大学院
工学系研究科教授・建築家

Moderator

陣内 秀信
法政大学デザイン工学部教授



1925年の創建から90年を迎えた安田講堂が改修となり、魅力的なシンボルに生まれ変わった。改修工事のポイントや本郷キャンパスにおける位置など、「建築物」を視点に歴史的背景、安田講堂の意義と活用、これからの大学像を探った。

改修工事で全体のデザイン監修という立場だった千葉教授は、創建当時の自然光を取り入れる姿に戻すなど、安田講堂の元々の価値、将来の価値を見据え、かつての図面や歴史を紐解きながら、

修復にあたったことを、藤井教授は神田錦町、虎ノ門、本郷にばらばらにあった学部が安田講堂完成後は大学の本部校舎としての顔となり、1928年以降は安田講堂で全体の卒業式を開催したことを挙げ、安田講堂の役割は大きかったと語った。

また吉見教授と陣内教授はともに、南原総長時代の文教地区構想と未来のキャンパス作りについて、将来は上野谷中地区も含め、大学が町とつながるのが理想であると話した。

東京大学から皆様へ 御礼とお願い

現在、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が、世界規模で猛威を振るい、これまでに例をみない被害が生じています。国内においても罹患者が急増し、終息の見込みは立っておりません。

本学でも研究力を活かして、様々な分野で新型コロナウイルスに関連する研究・開発を進めております。また医療の現場では、最新鋭の検査機器の導入をはじめ、医療体制の一層の充実を図っておりますが、そのためには皆様のご支援、ご寄附が必要です。募集開始以来、「同窓会からの案内を見て寄附をしました」など、同窓会に所属している方々から個人の寄附も集まっております。少しでも周囲の方にお声がけいただければ、大変ありがたく存じます。（東京大学基金事務局TEL:03-5841-1217）

新型コロナウイルス感染症緊急対策基金

2020年4月20日に本基金を設置、募集を開始いたしました。6月末までに第1次募集を募ったところ、卒業生からは21,124,962円のご支援をいただきました。厚く御礼申し上げます。その後7月1日～12月31日までを第2次募集期間としております。

現在、様々な分野で新型コロナウイルスに関連する研究・開発を進めています。また医療対策（治療薬・ワクチンの開発、感染防止対策、医療体制の充実等）などのほか、Post-Coronaの社会における新しい日常「ニューノーマル」の追求に資する教育や研究にも拡大し、即時性を追求しております。

引き続き皆様のご支援を宜しくお願いいたします。

comments

地球規模のこの未曾有の難局を東京大学の全教職を結集させて総力を上げて取り組みは必ずや乗り切れるものと確信し、微力ながら応援いたします。

新型コロナを早く克服し、力強く新たな一歩を踏み出そう!

現場の医師・看護師の皆様、本当にありがとうございます。感染拡大阻止に向け、東京大学関係者の皆様の取組みにより、希望の光が見出されることを期待しています。

コロナに怯えずにすむ世界が早くきますように。

いま、研究者として研究教育に携わることができているのは、院生時代をこの大学で過ごしたからです。後輩の皆さんの大学・大学院生活、そしてその後の人生が実りあるものとなるようお願い、微力ながら支援させていただきます。

新型コロナウイルス感染症が世界各地で終息することを祈念して外出自粛で使わなかった小遣いの一部を寄附させていただきます。

何か貢献できることがないかと思っていたところ、このプロジェクトを見つけました。この問題の専門家ではない私がこういった形で貢献できることが嬉しいです。

同窓会単位でお申し込みいただいた東大校友会登録同窓会

中国校友会有志一同 関西東大会

修学支援事業基金

今般の新型コロナウイルス感染拡大による社会生活・経済活動の大きな変化のなかで、家計の急変やアルバイト収入の減少などによって苦境を強いられ、修学や研究活動に大きな支障が生じた学生への支援として、東京大学は5月20日から「緊急学生支援パッケージ」※を実施することといたしました。新型コロナウイルス感染症の影響で困難な状況にある学生への経済的な支援は、修学支援事業基金にて受け付けております。

comments

私が在学していたころ、阪神淡路大震災で同級生がとても困っていたのを記憶しています。今回も大変な騒動ですが、希望を捨てずに頑張ってください。

生活に苦勞しながら学んでいる同級生や後輩の姿を見ました。勉学意欲のあるすべての学生・院生の皆さんが生活費に不自由なく平等に学ぶ機会をつくっていくのが私たちの責務であると考えています。少しでもお役に立てればと思います。

微力ではございますが、皆様のお役にたてれば幸いです。

コロナで厳しい環境でも、しっかり勉学に励んで社会での活躍を期待します。

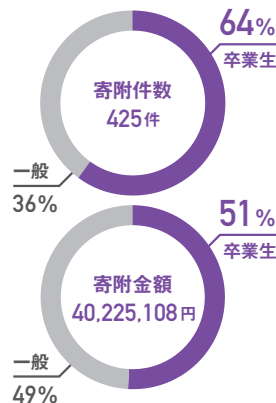
一日でも早く、学生の皆さんが日常生活に戻り、学業、研究に専念できますようお祈り申し上げます。

同窓会単位でお申し込みいただいた東大校友会登録同窓会

三井住友建設東大土木・社会基盤同窓会 長崎銀杏会 関西東大会

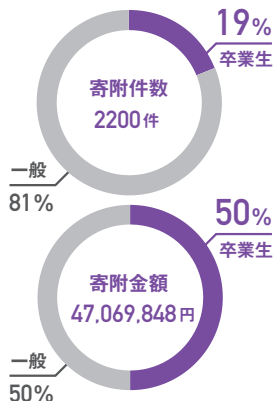
※グラフデータは2020年7月31日お申し込みまでの集計（個人様からのご寄附のみ）

卒業生・一般の構成比



※緊急給付型奨学金の支給、緊急授業料減免、授業料納付期限の延長、国の支援制度等の活用に関する情報発信

卒業生・一般の構成比



東京大学校友会支援基金寄附者芳名（2020年2月16日～2020年8月5日までのお申し込み順）

★阿久津 大成殿、長野 秀幸殿、相見 則郎殿、三橋 祐太殿、新出 莊一郎殿、豊澤 佳弘殿、名知 博毅殿、田中 聖也殿、★大谷 泰彦殿、★八十川 紀夫殿、★高畑 正子殿、橋場 弘長殿、★神保 直樹殿、★野村 匡志殿、小西 忠雄殿、匿名、匿名、★長谷川 隆寛殿、★山口 順道殿、★石渡 晋太郎殿、★大塚 陸毅殿、坂次 哲也殿、匿名、★飛松 一樹殿、匿名、★山田 勉殿、★小島 誠治殿、★服部 彰殿、阿見寺 俊洋殿、★山内 俊夫殿

※東京大学校友会支援基金にご支援いただいた方のうち、芳名録記載を希望された方。「氏名の記載を希望しない」にチェックされた方のみ匿名として記載。

※校友会支援基金に5万円以上のご寄附をされた個人

掲載広告インデックス

学士会館	4P	JR東日本メカトロニクス	13P
大和ハウス工業	5P	JR東日本設計	13P
関西東大会	7P	ブライダル	表3
東北協同乳業	11P	JR東日本	表4
本郷赤門前霊園	12P		

編集発行/社会連携本部
藤井輝夫/社会連携本部長
アートディレクション/細山田光宣
デザイン/河村織恵
表紙イラスト/門坂 流
印刷/勝美印刷
発行/2020年9月10日

お詫びと訂正 「No.38東大校友会ニュース」P14の記事中で、榊裕之名誉教授は日本学士院賞と掲載しておりますが、正しくは日本学士院会員です。お詫びするとともに訂正いたします。

東京大学校友会事務局

〒113-8654 東京都文京区本郷7丁目3番1号
TEL: 03-5841-1227
Email: utaa.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
URL: https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/alumni/index.html